

威風葵 大望と野心 巻き起こせ！葵旋風



第76回 卒業証書授与式 卒業おめでとう



〈3年次〉修学旅行



〈2年次〉スキー研修



〈1年次〉海の学習



発行所
岡崎市立葵中学校
(電話 21-0171)
(FAX 21-0172)

3月卒業号

祝 御卒業

校長 柴田 昌一

二三名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様、お子様の新しい門出を心よりお祝い申し上げます。

皆さんは小学校を卒業する直前に、コロナ感染症対策で全国一斉の臨時休校を経験しました。中学校の入学式は行うことができませんでした。再び休校となり学校が再開されたのは五月末でした。その後感染対策を行った上で活動となり、学校行事や部活動などの中止や延期、縮小の連続で、三年間の中学校生活を送ってきました。

私は、そのような時期に中学校生活を送った皆さんだからこそ身になることができたと感じています。

皆さんは、学校へ登校し友達や教師と過ごす日常、つまり「普通の」学校生活をとっても大切にしています。それは「明日も学校があることが当たり前ではない」「何かあれば自分が健康でも登校できなくなる」といふことが常に頭にあるからだ、と、三年生の生徒が話していました。コロナ禍以前には聞かなかった言葉でした。

授業では、デジタルとアナログをハイブリッドで活用するようになりました。一人一台のタブレット端末が配付され、その場ですぐにインターネットを使って調べ学習をしたり、タブレット端末に自分の考えを入力することで個々の考えを簡単に共有したりできるようになりました。さまざまな連絡もタブレット端末で行われ、家庭学習でも活用していました。もちろん、今までと同様にノートと教科書での学習も行っていました。デジタルを使いこなす力は格段に向上しました。

また、授業内でチーム学習をする機会があります。こそとばかりに友達から考えを聞こうとしていました。そして、自分の考え

を話そうとしていました。意見や知識をデジタル上で共有するだけで満足するのではなく、実際に対面で話し合っけて友達と関わる機会を、貴重なものとして大切にしているのだと思います。

葵中学校の学校生活(校則)を見直す話し合いの中でも感じました。今まで当たり前であった日常が大きく変化したりも、日常の当たり前について見直してもいいのだ、いや、見直そう、という気運を感じました。だから、冬は冬服、夏は夏服でと決めつけるのではなく、生徒が感じている寒暖に合わせた服装でよいのではないかと、体操服やジャージで過ごしてもよいのではないかと、という意見が生徒から出てきたのだと思いました。

部活動でも感じました。日頃の練習では、活動できることに感謝し、時間を大切にしていた。そして、生徒自身がよく考えて動いていました。例えば、「どのように動けば相手のディフェンスを抜いてシュートを打つことができるか」「どこにサーブを打てば相手のレシーブを崩すことができるか」「作曲者はこの音符で何を訴えたいか」などを考え、試しながら練習をしている場面に出会いました。そして、「大会前の決意表明では、大会が開かれること」「大会に参加できること」に感謝する言葉を聞きました。

皆さんはコロナ禍以前の生活と比べるとたくさんの「規制」というおもりを体に装着し、負荷をかけてトレーニング(行動)をしてきた世代です。コロナ禍が三年目に入り、少しずつ制限が緩和され、元の生活に徐々に戻ってきています。それと同時に皆さんは体からおもりを外し、勢いよく走り始めたのです。その姿を目の当たりにした私は、皆さんには五年後、十年後にごいことをやってのけてくれる秘めた力があるのだと確信し、大変頼もしく感じました。

三年生の皆さん、いよいよ旅立ちです。この三年間、葵中で学んだことに誇りをもってください。皆さんの幸せを心から願っています。

三年間の思い出

私の宝物

三年一組



△部活動

迫ってくる最後の合奏。「部活面倒くさいね」と会話したことがまるで嘘のようでした。できることならもっとみんなと演奏したい、もう一回あの曲を吹きたい、そう思えたのは、吹奏楽部のみんながいたからだと思います。

吹奏楽は一人ではできません。だからこそ、私は部員全員との関わりを大切にしてきました。頼れる先輩にはなれなかったけれど、誰よりも仲間を大切にできた自信があります。みんなと一緒に頑張って、時にはふざけて、笑って、泣いて過ごしたこの三年間は私の貴重な宝物です。吹奏楽部に入部できて本当に幸でした。ありがとう。

絆を深めた合唱コンクール

三年二組



△合唱

「最優秀賞、二組」と発表された瞬間、学級の仲間と喜び合ったことが、私にとって最高の思い出となっっています。

聴く人に感動を与える歌にしたいという思いで練習に励みましたが、なかなか思うような歌声には

なれず、悩みました。そこで、どんな思いで歌うのかについて話し合い、「最優秀賞を取りたい」「後悔したくない」という目標を掲げて歌うことで、理想の歌声に近づいているように感じました。本番当日、今までで最も楽しい気持ちで歌うことができ、仲間と喜びを分かち合い、学級の絆が深まりました。

僕たちの三年間

三年三組

僕たちの三年間は、困難の連続でした。いちばん大変だったのは、マスクでの生活です。

入学して、新しい友達を作ろうとしても、表情が分かりにくく、コミュニケーションが取りづらかったことを覚えています。結局、マスクを着けない日は一日もありませんでした。

僕たちはその中でも、仲間との日々を大切にし、自分たちで楽しみを見い出して、思い出を作ってきました。マスクがあってもいろいろな工夫をしながら過ごした日々はよい思い出となっっています。この困難を乗り越えられたのなら、これからどんな困難にぶち当たっても乗り越えていけると思います。

輝き続ける修学旅行

三年四組

僕たちは、東京方面に修学旅行へ行きました。学年チームである「stay go lid」団結・積極・笑顔のもの、



△修学旅行

実行委員では細かくルールについて話し合いました。

テーマ別研修では、僕は、S D G Sコースへ行き、持続可能な開発目標へ向けた取り組みや問題について関心を深められました。また、国会議事堂では、議員さんの話を聞き、国会や政治について学びました。東京

デイズニースイードでは、班の仲間と思いきり楽しむことができました。修学旅行は、一生心に残る思い出になりました。

最後の体育大会

三年五組

僕は今まででいちばん盛り上がる体育大会にしたいと思いい、体育委員長になりました。コロナ対策による制限がある中で、どうやってうまくいくかを毎日考え、試行錯誤していました。当日、司令をしながら、楽しそうに取り組んでいるみんなを見て、自分のやりたかった体育大会になったと思いい、強い達成感を得られました。

また、僕たちは伝統の「葵の舞」を舞いました。仲間と教え合い、学年全員が一体となって作り上げた「葵の舞」は、見ている人に感動を与えられる最高の舞になりました。

挑戦と感謝

三年六組

challenge. まさにこのテーマがぴったりなスキー研修でした。

私は元々、何でも「やってみよう」と行動することが多かったため、スキーも楽しみにしていました。が、いざゲレンデに立つと、初めは怖くて滑ることができませんでした。何度も心が折れそうになりましたが、最終日にはまたやりたいと思うほど、スキーが好きになりました。それは自分の頑張りがけでなく、仲間がいたからこそ楽しめたのだと思います。周りの人の温かい気持ちをより実感できた三日間でした。この経験と日々の感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張っていきたいです。

開発での三年間

開発A組

僕は一年生の頃、友達をたくさん作ろうと決めていましたが、交流では緊張して話しかけることができませんでした。二年生で先輩になり、新入生に学校のルールやいろいろなことを教えました。三年生になり、最高学年として受験や「葵の舞」など、最初は難しかったことにも頑張っって挑戦しました。交流でも、友達に勇気を出して分らないところを教えてもらって、本番では精いっぱい踊ることができてよかったです。後輩のみなさんも、苦手なことにもチャレンジして頑張ってください。

卒業生に贈る言葉

卒業する君たちへ

三年学年主任

教員生活で初めて三年間持ち上りがりの学年でした。登校日は五百六十八日でしたが、一日たりともマスクを外して生活することはありませんでした。だからこそ、時折見ることができる素顔を見たときは、こんな顔をしているんだと感動したときもありました。

「二歩前へ」、「Maximum」、「繋ぐ」、学年通信のタイトルです。一歩踏み出してほしい、一生懸命に取り組んでほしい、自他の繋がり、未来へと繋がる生活をしてほしい、そんな願いを込めて付けたタイトルでもあります。葵中で学んだ三年間がこれからの人生の土台となり、大きく成長していつてほしいと願っています。いつも君たちを応援しています。どんなときでも笑顔をお忘れずにね。卒業おめでとう！

結果より過程が大事

三年一組担任

私は何事も「結果より過程が大事」だと思っています。人生で結果を出したいときは多くあります。しかし、その結果の良し悪しだけを見るのではなく、そこまでの過程をどれだけ大切にできたかが、とても大事だと思います。そのため、速回りになることもあります。それも人生であり、そこから学ぶことも多いはず。過程を大事にできる

人でいてください。ぜひ、これからの人生が実り多いものになることを願っています。

一生懸命

三年二組担任

みなさんと過ごして「一生懸命」な学生だと強く感じました。体育大会、葵の舞。二年前に「葵の伝統は、「一生懸命」だ」と教わった私が、改めてみなさんの舞での表情、成長を見て強く実感しました。合唱コンクール。話し合い、時に涙を流しながら取り組む姿に心打たれました。そんな「一生懸命」は、必ずあなたを支えるはず。卒業おめでとう。これからも一生懸命な皆さんでいてください。

大切な一年

三年三組担任

「葵の舞」に全力で取り組み、すばらしい演技を披露する姿。自分の将来について真剣に考え、受験に向かって必死に頑張る姿。とても輝いていました。みなさんにとって大切な一年を共に過ごせたことに感謝をしています。さて、ここからは新しい道へ進んでいきます。楽しいことだけでなく、苦しいこともたくさんあります。でも、葵中学校で三年間学んできた皆さんなら乗り越えられます。応援しています。

人生は「どうする？」の繰り返し

三年四組担任

コロナで休校から始まったあなたたちの三年間。行事はことごとく延期か中止か縮小でしたね。でも、一緒に過ごした三年間はとても楽しい毎日でした。みんなは逆境にも負けず、そのときでできることを「どうする?どうする?」と常に模索してきました。今後の人生にも「どうする?」という場面が出てきます。人生の岐路に立ったとき、葵中で過ごした三年間を思い出してください。卒業おめでとう。

人生は一期一会 出合いを大切に

三年五組担任

自分が教員となって十六年が経ちました。初めて中学校三年間を持ち上がった学年が君たちでした。君たちは一人一人の個性が光る美しい、「花束」のようでした。これからも明るく前向きに、「挑戦(スフィア)」していかってほしいです。そして、これからの出合いを大切に、成長を続けてください。君たちとの出合いは、自分にとって「最高」のものとなりました。お互いにまた、笑顔で会いましょう。

ありがとう

三年六組担任

一年間の付き合いでした。が、さまざまな場面でみんなのがんばりをたくさん見ることができた。学年レクや修学

旅行等をみんなと過ごし、みんなの良さがどんどんわかってきた。その後は、「葵の舞」や合唱コンなど完成させる喜びを分かち合った。祝う会ではみんなが笑った。いよいよ卒業。これからはそれぞれの道を歩んでいく。自分を信じ、仲間を信じ、堂々と進んでいってほしい。みんなの活躍を心から願っている。

幸せになってね

三年副担任

皆さんの笑顔や、ひたむきさは素敵で、いつも元気をもらい、頑張る原動力になりました。そんな皆さんと三年間一緒に過ごせたことを感謝します。これから自分の選んだ道に進んでいく皆さん、皆さんが選んだ「道」は「未知」です。この先、まだまだ知らないことがいっぱい。何が待ち受けているのか楽しみがいっぱい。わくわくしながら歩み、自分らしい生き方を見つけてください。幸せになってね。

ありがとう

三年副担任

明るく素直で真面目な三年生。何事にも一生懸命取り組むことのできる三三二人の素晴らしい学年でした。わいわい楽しい英語の授業、精いっぱい取り組んだ行事など、皆さんと過ごした一年間は、本当に充実していて大切な宝物となりました。ありがとう。そして、卒業おめでとう！皆さんのこれからの人生が光り輝いていますように。ずっと願っています。



これからの日々を

三年副担任

卒業おめでとう。中学校生活は、どうでしたか。大変でしたか？楽しかったですか？

人生はいろいろなこと

があります。コロナウイルスもそうです。それをどう乗り越えるかが鍵になります。人生とはとなく難しく思います。少しでもいいから人や社会の役に立ち、そして日々を楽しんでください。私も、楽しみにます。お元気で。

いつしか花は咲く

開発学級主任

元気な挨拶、何事にも諦めずに挑戦する姿、仲間思いの優しい心。どれもみんなの素敵なよさです。そんなよさを

見て先生も多くの感動をもらいました。「できないことがたくさんあってもできることはある。できることを続ければ、いつしか花は咲く」。一人一人のよさを生かして、困ったときに助けられる人、そして周りの人を助けられる人になってください。みんながどんな花を咲かせるか楽しみにしています。卒業おめでとう。

在校生から卒業生へ

「先輩方ありがとうございました」

先輩たちの存在

一年六組

私は吹奏楽部に所属しています。文化祭に向けての練習で、先輩が上手に

演奏できるコツを教えてくださいました。当日は、私が緊張していると、「楽しんで演奏してきてね。」

と、アドバイスをしてくださり、楽しく演奏できました。優しく接してくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、体育大会の「葵の舞」では、細かい動きまで統一された迫力のある演技がとてもかっこよく、私も早く舞つてみたいと憧れました。

先輩方がご卒業されるのは心細いですが、私たちも先輩方を見倣いながら、伝統を受け継いでいきます。

憧れの姿

二年三組

どんなことも手を抜かず全力でやり切る先輩の姿。その姿は私の憧れです。私が特に印象に残っているのは部活動です。

私は吹奏楽部に所属していますが、先輩は文化祭の練習の際、忙しいはずなのにそんな素振りを見せず積極的に練習に取り組み、わからないところは優しく教えてくれました。その姿がかっこよく、私も先輩のように全力でやり切りたいと思うきっかけになりました。

私が三年生になったとき、大変なことに、つらいことがあって最後までやり切ることを大切にしていきたいです。今までありがとうございます。

助けてくれた先輩

開発A組

先輩方は、普段から私たちをたくさん助けてくれました。困ったことがあっても、すぐに気づいて助けてくれたうれしかったです。つらいこともあ

るだろうけれど、高校生活を思う存分楽しんでください。離れていてもずっと応援しています。

私たち憧れの先輩へ

開発B組

「葵の舞」など、一つ一つ真剣に取り組む姿がとてもかっこよかったです。私たちが、伝統である「葵の舞」を受け継ぎます。また、放課の時間に一緒に遊ぶときがとても楽しかったです。いろんなことを丁寧に教えてくださりありがとうございました。

表彰の記録

銀賞

・中日アンソナルコンテスト 西三河地区大会 吹奏楽部

四月の予定

- 六日(木) 新三年入学式準備
- 七日(金) 新任式・入学式・始業式
- 一〇日(月) 退任式・火災避難訓練
- 給食持ち
- 一日(火) 始業開始・個人写真(二年)
- 二日(水) 学級写真(全学級)
- 三日(木) 身体測定(全学年)
- 午前四時開校
- 給食なし
- 四日(金) 委員会
- 七日(月) 新入生歓迎会
- 八日(火) 入生講演会
- 全学学力・学習状況調査(三年)
- 九日(水) 尿検査(一次)
- 一〇日(木) いまわりのプロジェクト
- 二二日(土) 授業参観・制服バザー
- P.T.A総会
- 二六日(水) 第一回岡崎学力検査(三年)
- 二九日(土) 岡崎市総合体育大会



「今の幸せ」が

「未来の幸せ」につながる

F組担任

今年度より本校にもF組が設置された。子供が学校に適應するのではなく、学校が子供に適應する」という理念の基、子供の多様性を認め、可能性を伸ばすべく、F組がスタートした。

当初、私は迷いがあつた。進路や将来を考えるとき、F組を選択したことを後悔することはないだろうか。今、皆と同じように、やるべきことをやっておかなければ……、苦しくとも、今、頑張っておかなければ……。

しかし今、この迷いはない。子供たちは、F組の仲間や支援員の先生、教員補助の先生方と過ごす中で、自分の存在を他者から認められ、少しずつ自分を肯定的に捉えられるようになってきている。先輩として後輩の相手をする。進路に向けて頑張る先輩を目の当たりにする。子供たちは仲間との関わりを通して、前に進みつつある。さらに、その小さな前進を認めてくれる他者がいることで、さらなる一歩を踏み出せるようになる。

自分の存在を、また、頑張りを認めてもらえること。この「今の幸せ」が、F組の子供たちにはかけがえのないものである。

「未来の幸せ」のために、苦しい思いも必要であろう。だが、もつと大切なことがある。それは、他者から認められる経験を重ね、よいところもまだまだのときも含めた、ありのままの自分を肯定的に受け止められるようになることである。私はこれこそが、「幸せ」を感じるための絶対条件であると考え、今はそう信じている。